神はおん独り子をお与えになるほどこの世を愛された　ヨハネ福音書3.16

京都教区時報　カトリック
古屋司教認可
発行　京都教区広報室

祈る家庭・聖なる家族

司教　古屋義之

京都教区の皆さん、クリスマスおめでとうございます。ご降誕祭を迎えると、思いはおのずとベトレヘムの馬小屋、ナザレトの聖家族に向います。ところでクリスマス後き家庭の模範であったことがわかります。

子供を立派に育て、本当の幸せを与えたいと思うなら、祈る家庭をつくり、子供に祈りを教えなければならないでしょう。子供が神を愛し、信頼し、立派な家庭人、社会人に成れるように、幼い頃から祈る習慣をつけなければならないと思います。幼い頃に習いおぼえた祈りの数々が、成人した後どれ程役立つかは、多数の信者の経験からもわかります。

一日一度は家族揃って祈りの時をもつというほど素晴しいことはないでしょう。例えば夕食後に一家そろってロザリオの祈りの、たとえ一部分なりとも唱えるのはいかがでしょうか。また子供達がめいめい神と語り合う習慣をつけることも大切です。

ご降誕を迎えるにあたり、皆さんが祈りを大切にされ、子供達もお祈りするようになればと願っております。

皆さんのご家庭に、イエズスさま、マリアさま、ヨゼフさまの豊かなお恵みが注がれますように司教としての祝福を送ります。

（京都教区長）

〔カルバンチェ画〕

衣笠教会で合同追悼ミサ

十一月十七日午後二時より衣笠教会で、教区司祭五人の共同司式で、京都教区合同追悼ミサがあった。当初衣笠墓地で予定されていたが、相憎の雨で同教会で行なわれ、教区の信者多数が参列し、死者の霊魂の冥福を祈った。

この日は親交会（司祭、修道者を出した家族の会）の十周年の例会にあたり、親交会員もこのミサにあずかり、その後カルメル会修道院で親睦会をもった。

奈良県で司牧評議会開催

九月二十九日、奈良県高田教会で、奈良県司牧評議会（会長、岩井氏・奈良教会）が開催された。テーマは「召し出し」についてであり、岩井氏、ウイックス師（マリスト会）村上真理雄師（青谷教会）シスター田辺が各々召し出しについて話した。参加者は司祭、シスター、奈良県七教会の代表者等七十八名であった。

丸山師ヨーロッパ、アメリカ旅行

司教代理、河原町教会主任司祭丸山師は、永年の念願がかない、九月二十二日から十二月六日にかけて、ヨーロッパ、アメリカの旅行を終え、このほど無事帰国された。みやげ話をきけるのがたのしみである。

葛教会新築おめでとうございます

奈良県、葛（御所）教会（主任司祭、ニュージェント師）はこのほど教会を新築し、九月二十三日、古屋司教を迎え司祭、修道女、信徒多数が列席し、盛大に献堂式をおこなった。聖堂と同時に司祭館も新築、葛カトリック幼稚園は増築改造、聖ヨゼフ老人ホームの屋根の改造も行なった。

中学・高校生の集い

九月十五日、三条河原町信愛幼稚園及びカトリック会館で中学・高校生の集いの第一回集会が催された。七十数名が参加し、ミサにあずかり、話し合い、ゲームを楽しんだ。第二回集会は十月二十日、愛宕山へのハイキング、野外ミサのあとゲームに興じるなど親睦を深めた。

「信徒のための神学講座」第一部終る

「信徒のための神学講座」第一部聖書入門講座は、九月二十一日浦和教区長、長江恵司教の講義で始まり、十二月七日全課程を終了した。

二篇の美しい映画を貸し出し中

教理センターでは新しく二篇の美しい映画を貸し出している。「平和の王子」はメシアの先駆者聖ヨハネの誕生から幼児イエズスの神殿における奉献まで（七十分）、「救い主」は最後の晩さんにおけるユダの裏切りの予言より復活されたキリストの出現に至るまでの出来事（九十分）を、美しい自然や壮大な神殿を背景として聖書に基づいて描き上げられたすばらしい映画である。大規模な構成や堅実な時代考証、邦訳技術など一流で、「聖衣」や「キングオブキングス」に優るとも劣らない素晴しい作品である。

七修道女終生誓願

○　八月三十日、ノートルダム教育修道女会で、古屋司教の司式により、五人のシスターが終生誓願をたてた。シスター・メリー・フィデリア（広島県出身）シスター・メリー・アナスタシア（埼玉県出身）、シスター・メリー・アイリーン（京都府出身）、シスター・ミリアム・テレーズ（京都府出身）、シスター・メリー・ドロシー（沖縄県出身）で、現在、各々、ノートルダム女学院、同大学、同特殊学級、名古屋、沖縄で活躍中である。

○　八月二十七日カロンドレットの聖ヨゼフ修道会津修道院で、古屋司教の司式で二人が終生誓願をたてた。シスター竹内（高野教会出身）とシスター真木（大阪市出身）で、シスター竹内はセント・ヨゼフ女子学園で教鞭をとり、シスター真木は精神病院のボランティアとして活躍している。

八十八人のキリシタンをしのぶ

―奈良・郡山教会―

浦上四番崩れの際、奈良県郡山に流布されそこで死亡した八十八名のキリシタンは雲源寺に葬られた。その後放置されたままであったが、四年前、故久保忠八氏（流配者の子孫）が親戚に呼びかけて寄財を集め、郡山カトリック教会内に記念碑を建立した。

それ以来、毎年十一月三日には司教司式ミサが捧げられている。今年も同日司教司式ミサ、その後パーティがあり、長崎から子孫十四名、関西在住の浦上出身者数十名が集り盛大に記念した。

なお浦上四番崩れについては、今西祐行作「浦上の旅人たち」という面白い小説がある。

（実業之日本社・五八〇円）

第四回司祭・修道士懇親会開催

十一月二十三日、河原町カトリック会館で、司祭、修道士懇親会が催された。司教様のあいさつ、司祭評議会からの報告、各地区並に各修道会、宣教会の現状報告、東門神父による最近の典礼刷新の説明などがあった。

また、共に食事をし、四方山話に花を咲かせ、楽しいひとときをすごした。

最後にカテドラルで聖体降福式にあずかり、御聖体を中心に教区の司祭、修道士の一致を固めた。

「高校生の研修講座」

津教会では今夏、カトリック高校生の研修講座を開催した。希望ケ丘「青年の城」に三泊し、近藤師、徳久師、クレッチャー師、ミスター真木長嶋弘氏の指導の下に、祈り学び、楽しい有意義な四日間をすごした。

ニュース トピックス

司祭移動

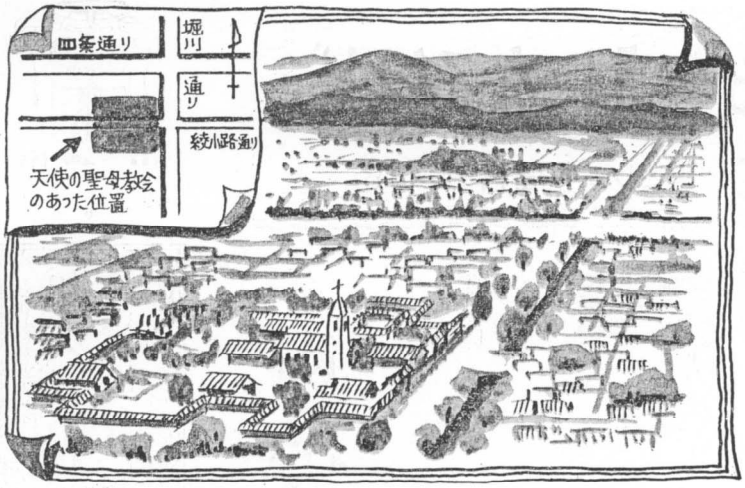
マキロプ師、松阪教会へ

メリノール会元管区長マキロプ師は、長年衣笠教会主任司祭をつとめていたが、このほど三重県松阪教会に転勤、信者方との思い出に別れを告げ、同地へ赴任した。

○　斎木師　桂教会へ
○　越知師　小山教会へ
○　メデウイド師　衣笠教会へ
○　ヒル師　奈良教会へ（助任）
○　ハーコム師　富雄教会へ
○　ウイックス師　大和高田教会へ（主任）
○　小山師　大和高田教会へ（助任）

日本二十六聖人捕縛の地発見

―京都・妙満寺町―



日本二十六聖人が殉教する前、京都のフランシスコ会の教会で捕えられたが、その所在地がはっきりせず、ナゾにつつまれていたが、このほどアルバレス大阪外国語大学教授によってその地所が明らかにされ、キリシタン史上有力な資料として注目されている。

日本二十六聖人殉教者の列聖百周年に当る一九六七年、カトリック信者の一団が、同殉教者たちの足跡をたどる巡礼を計画したことがある。

二十六人は、京都のフランシスコ会の教会で捕縛された。

耳を切られたあと、同所を、一五九七年一月三日出発、大阪の下町を引き回され、長崎まで引き立てられ、二月五日はりつけの刑に処せられた。

その足跡をたどる巡礼計画は、幾つかの困難に当面したが、その第一は、出発点である京都のフランシスコ会の教会の正確な位置がつかめないことだった。

二十六聖人の時代の手紙や文書からわかっていたのは、堀川の近くに、「天使の聖母」と云う手広い教会があったと云うことである。

歴史家のアルバレス教授は、ぼう大な歴史文書をたどって、その教会の位置（妙満寺町）を確かめることができた。

教会の一万六千平方メートルの地所があったとされる所のまん中を、現在、綾小路通りが走っている。

堀川通りに面し、四条通りの南、約百メートル西側である。

アルバレス教授は、この資料を先ごろ、二十六聖人の一人、「御昇天の聖マルチノ」の手稿の注解の一部として発表した。

聖マルチノの手稿は、当時の日本の教会の状況を長々と記述しており、捕縛される数週間前に、脱稿したものである。

アルバレス教授が編集したそのテキストと、注解は、キリシタン史の上で、特に二十六聖人と、その殉教に至る経過をより正確に知るための貴重な資料である。

聖年の好機に当り、私たち日本人カトリック信者の誇りでもある、二十六聖人の足跡が、私たちの新しい巡礼の地として、将来同所に記念碑の建てられる日の早からん事を切望する。

〝ペトロの後継者の声を聞こう〟

「あなたたちの言うことを聞く人は
私の言うことを聞く人だ」ルカ 10.16

回勅シリーズ

レオ十三世	レールム・ノヴァルム	労働者の境遇
ピオ十一世	カスティ・コンヌビー	結婚の倫理　解説付
ピオ十一世	ディヴィニ・レデンプトリス	無神的共産主義　解説付
ピオ十一世	クアドラゼジモ・アンノ	社会秩序の再建　解説付
ピオ十二世	スムミ・ポンティフィカッス	世界の平和　解説付
ピオ十二世	ミステチ・コルポリス	キリストの神秘体　注解付
ピオ十二世	サクラ・ヴィルジニタス	聖なる童貞性について
ヨハネ二十三世	マーテル・エト・マジストラ	キリスト教の教えに照らしてみた社会問題の最近の発展について　解説付
パウロ六世	ミステリウム・フィデイ	地上の平和
パウロ六世	エクレジアム・スアム	聖体の教義と崇敬について
パウロ六世	ポプロールム・プログレシオ	現代社会と教会との対話
パウロ六世	サチェルドターリス・チェリバートゥス	諸民族の進歩推進について
パウロ六世	神の民のクレド	司祭の独身制について
パウロ六世	フマーネ・ヴィテ	「信仰の年」を閉じるにあたっての教皇宣言
		適正な産児の調整について

中央出版社　90～200円

書籍紹介

「イエズス・キリスト小伝」
ダニエル・ロップス
聖書にもとづいてキリストの一生を平明に物語化した好書。
（ドン・ボスコ社、四〇〇円）

「キリストを知るために」
F・J・シード
福音書を通してイエズス・キリストを知るために書かれた本。当時の宗教事情、福音書相互の材料の照合などをふんだんにおりまぜてあり、福音書を深く読みとるにも有効。
（エンデルレ書店、九六〇円）

「神学入門」Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
岩下壮一
わが国の代表的神学者である岩下神父の不朽の遺書。かなり教養ある信者向き。神学に興味ある人のために。
（中央出版社、五七〇円、四五〇円、七〇〇円）

「わたしのいくみち、ぼくのみち」第一・二・三巻
トーマス・ライリー
小学生一・二年生、三・四年生、五・六年生向きの聖書の話し。子供たちの身近にあるものをとりいれて、やさしいことばで説明してある。
（中央出版社、各三〇〇円）

「公教要理詳解」
聖ピオ十世
正確な表現と詳しい説明を問答形式にまとめた要理書。信者が教理を復習し、深めるのに最適。洗礼直前の総復習の参考書としても好評。
（セイドー、一、〇〇〇円）

「人間と永遠」
チェスタートン
「人間という名の生物」から「キリストという人間」をながめた歴史書と称される本。逆説をふんだんに使用した興味ある書。
（春秋社、一、二〇〇円）

「ファチマの牧童」
セ・バルタス
ファチマの聖母の出現の光栄にあずかった三人の牧童の話。ロザリオの祈りと犠牲の大切さをしみじみと感じさせる書。小学上級生から大人向き。
（光明社、六五〇円）

「道」
エスクリバー
「この本は法典のもつような厳格さはないが、聖性の法典と呼べる。その中で著者は、おどすのではなく説得しながら、兄弟的寛容、父的配慮で理解し、いましめているのである」（オッセルバトーレ・ロマノ誌より）
（セイドー、六〇〇円）

「聖なるロザリオ」
エスクリバー
ロザリオの祈りを黙想しながら良く唱える秘訣を教える書である。内的生活のための必読書。
（セイドー、六〇〇円）
「道」と「聖なるロザリオ」ケース入りプレゼントセット版もある。二、〇〇〇円

「使徒職の秘訣」
ショータル
「あらゆる使徒職を生かし、これにゆたかな実を結ばせるものーそれは〝内的生活〟です。内的生活こそは、あらゆる使徒職の〝魂〟であり、使徒職において成功するための〝秘訣〟なのです。」（訳者序）
（ドン・ボスコ社、六〇〇円）

「万人のための神学」
F・J・シード
深い神学的内容をわかり易く説明した、まさに万人のための神学書。カトリック要理の第一部にあたる。
（中央出版社、五〇〇円）

「旧約聖書物語」「新約聖書物語」
わきたあきこ
小・中学生用であるが大人にもよい。旧約聖書への入門書として、また、キリストの生活のあらましを端的に把握するために利用できる。
（女子パウロ会、六〇〇円、七〇〇円）

「祈り方」
フランシスコ・ルナ
祈りなど難かしいという人のために書かれた著。祈りの精神と祈りの仕方をわかり易く具体的に説明してくれる書。
（セイドー、二〇〇円）

「聖書の研究について」
枢機卿　田口芳五郎
聖書についての教会の主な教え、現在見られる様々な逸脱、聖書の読書、研究、解説の仕方についてわかり易く解説する。
（セイドー、二〇〇円）

「召しだし」
ホセ・ルイス・ソリア
召しだしの正しい理解のために書かれた書。「私達の生活の召命的な意味を考えなければならない。私たちが生きていること自体が召命である」。日常生活の中で神の御旨を見出す秘訣を教える書。
（セイドー、二〇〇円）

「結婚への召し出し」
エスクリバー
人間的愛の聖化、結婚の神的価値、幸せな家庭について語る。つまり結婚は超自然的な召し出しであることを教える。
（セイドー、一五〇円）

編集後記

クリスマス　おめでとうございます。

世の中の景気の良悪は、歳の瀬に一番大きく影響するのは、今更申すまでもありません。

不景気な年末には、心身ともに、冷えびえとして、本当に侘しいものです。

教会のこよみも、クリスマスから、新しい年を迎えるわけですが、私たちの、この一年間の心の景気の方はどうだったでしょうか。

物質面に、つい気をとられて、心がいつもおろそかになったのではないでしょうか。

心の不況は、ちよっとした気のもちようで、いくらでも好況にできます。

物質でも同じでしょうが、常に与えられることばかり考えずに、与えることの尊さ、美しさに、もっと関心を示して、新い年も、心の景気をもっと良くしたいものです。（Y生）